

第 1 回 新宿区協働支援会議次第

令和 3 年 4 月 1 9 日（月）午前 1 0 時
新宿区役所本庁舎 6 階第 2 委員会室
（オンライン開催）

1 委員紹介（自己紹介）

2 議 事

- （１）座長選任
- （２）座長代行選任
- （３）令和 3 年度の協働支援会議の開催スケジュールについて
- （４）令和 3 年度一般事業助成の申請状況等について
 - ・ 申請状況について
 - ・ 評価について
 - ・ 協働推進基金と令和 2 年度の寄附実績について
- （５）その他

3 次回開催について

令和 3 年 4 月 2 6 日（月）午後 2 時から オンライン開催
会場 本庁舎 6 階 第 2 委員会室

4 閉 会

配付資料

- [資料 1] 新宿区協働支援会議委員名簿
- [資料 2] 令和 3 年度協働支援会議等 開催予定
- [資料 3] 全体のスケジュールイメージ
- [資料 4] 令和 3 年度一般事業助成 申請団体一覧
- [資料 5] 令和 3 年度一般事業助成 評価表
- [資料 6] 一般事業助成の評価基準等について
- [資料 7] 一般事業助成の公開プレゼンテーションについて
- [資料 8] 令和 3 年度 今後の一般事業助成スケジュール（案）
- [資料 9] 協働推進基金 令和 2 年度寄附金の活用先の指定

新宿区協働支援会議委員名簿

資料1

令和3年4月1日現在

	委員の区分	氏 名	備 考
1	学識経験者	ふじい こうじ 藤 井 浩 司	早稲田大学 政治経済学術院教授
2	非営利活動団体構成員	せきぐち ひろあき 関 口 宏 聡	認定特定非営利活動法人 シーズ・市民活動を支える制 度をつくる会 代表理事
3	非営利活動団体構成員	ひらの かくじ 平 野 覚 治	一般社団法人全国食支援活動 協力会 専務理事
4	区民（公募区民）	まつい ち き 松 井 千 輝	区民（公募区民）
5	区民（公募区民）	たけい よういち 竹 井 陽 一	区民（公募区民）
6	区民（公募区民）	のりたけ たつろう 則 竹 達 朗	区民（公募区民）
7	区内事業所の社会貢献部 門経験者	いとう きよかず 伊 藤 清 和	元富士ゼロックス東京（株） CSR部社会貢献推進グループ
8	新宿区社会福祉協議会職 員	おおの てつお 大 野 哲 男	新宿区社会福祉協議会 事務局次長
9	地域振興部長	やまだ ひでゆき 山 田 秀 之	

※名簿の順 は、要綱に規定する区分の順による。

令和3年度協働支援会議等 開催予定

令和3年4月19日時点

会議名	日程	議題
第1回協働支援会議 (一般事業選定)	4月19日(月) 10時～ 12時 オンライン会議	・協働支援会議座長及び座長代行の選任 ・3年度一般事業助成の状況について ・3年度の協働支援会議の開催スケジュールについて
第2回協働支援会議 (一般事業選定)	4月26日(月) 14時～ 16時 オンライン会議	・一般事業助成書類評価にあたっての事前協議
第3回協働支援会議	4月28日(水) 書面会議	中止
第4回協働支援会議 (一般事業選定)	5月18日(火) 14時～ 16時 本庁舎6階第2委員会室	・一般事業助成一次選考(書類) ・民間提案制度について①(行政管理課)
第5回協働支援会議	6月1日(火) 10時～ 12時	・民間提案制度について行政管理課の説明を受けての勉強会①
第6回協働支援会議 (一般事業選定)	6月28日(月) 時～ 時	・一般事業助成二次選考(プレゼン)
第7回協働支援会議	7月12日(月) 時～ 時	・勉強会予備日①
第8回協働支援会議	8月上旬 時～ 時	・勉強会予備日②
協働事業 中間点検視察	8月下旬(土日の可能性あり) 時～ 時	・舞はんど舞らいふ(レッスン事業視察)
第9回協働支援会議	9月上旬 時～ 時	・民間提案制度について②(行政管理課)
第10回協働支援会議	9月下旬 書面会議	・一般事業助成制度の見直し検討①
第11回協働支援会議	10月下旬 時～ 時	・民間提案制度について③(行政管理課)
第12回協働支援会議 (協働事業中間点検)	11月上旬 時～ 時	・舞はんど舞らいふ
第13回協働支援会議	11月中旬 時～ 時	・一般事業助成制度の見直し②
第14回協働支援会議	12月中旬 時～ 時	・一般事業助成制度の見直し③
第15回協働支援会議	令和4年1月下旬 時～ 時	・一般事業助成制度の見直し④
第16回協働支援会議	令和4年2月上旬 時～ 時	・4年度新制度募集要項確定
第17回協働支援会議	令和4年3月下旬 時～ 時	・令和4年度について ・3年度協働事業進捗状況調査結果について

※ 緑字は変更箇所

	R3年度													R4年度	備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
協働支援会議	① 19 日 ② 26 日 ③ 28 日	④ 18 日	⑤ 1 日 ⑥ 28 日	⑦	⑧	⑨ ⑩	⑪	⑫ ⑬	⑭	⑮	⑯	⑰		協働推進基金助成制度のあり方検討 書面開催予定 他の議題	
民間提案制度の検討	【令和3年度第1回説明】 ・令和2年度の振り返り ・先進自治体の紹介 ・制度設計の方向性														
	【令和3年度第2回説明】 ・民間提案制度素案の報告 ・素案に対する意見聴取														
	【令和3年度第3回説明】 ・民間提案制度(案)の報告														
一般事業助成への跳ね返し/見直し	一般事業助成の見直し														

令和3年度一般事業助成 申請団体一覧								
No.	団体名	法人区分	事業名	分野	今回の申請関係		これまでの実績	
					申請額 (円)	助成回数・ 助成率	同一事業への 助成実績 (年度)	その他事業への 助成実績 (年度)
1	イ	一般社団法人	在日外国人向け「介護の日本語」教室	保健・医療・福祉	500,000	1回目、2/3		
2	ロ	NPO法人	多文化共生型災害に強い地域づくり	災害救援	500,000	1回目、2/3		
3	ハ	NPO法人	外国人をはじめとした高校未就学者支援事業	子ども	317,000	1回目、2/3		
合計					1,317,000			

令和3年度一般事業助成評価表(一次評価・書類評価)

委員名			評価	A	B	C	D	E
			評価の目安	大いに認められる	認められる	どちらかといえば認められる	どちらかといえば認められない	認められない
			1	2	3	合 計		
			イ	ロ	ハ			
評価項目	(1) 区民ニーズを的確に把握し、地域課題や社会的課題を捉えた事業となっているか	(10点)				0		
	(2) 課題解決の手法が適切で、効果が期待できるものとなっているか	(10点)				0		
	(3) 区民の社会貢献活動への理解を深め、参加の契機となり得る事業となっているか	(5点)				0		
	(4) 事業計画及びスケジュールが実現可能で、妥当なものとなっているか	(10点)				0		
	(5) 実行体制(人員体制や安全対策)は適切であるか	(5点)				0		
	(6) 事業の継続性や発展性が期待できるか	(5点)				0		
	(7) 団体の先駆性や専門性を活かした事業となっているか	(5点)				0		
	(8) 申請した企画内容と照らして、資金計画や経費見積りが適切であるか	(5点)				0		
	(9) 運営の公開性及び透明性に優れているか	(5点)				0		
	(10) 団体の運営にかかる経費について、自ら資金確保に努め、経営状況は健全であるか	(10点)				0		
実績評価※	(11) 過去に本助成を受けた事業を申請する場合、実施状況が適切であるか、その効果が発揮された事業であるか	(－5点)				0		
合計	70点満点		0	0	0	0		

※過去に助成を受けた事業のみ評価

※各委員の評価を下記のとおり事務局で点数変換し、合計点を集計します。
* 10点満点の場合(評価A:10点、B:8点、C:6点、D:2点、E:0点)
* 5点満点の場合(評価A:5点、B:4点、C:3点、D:1点、E:0点)
* (11)の採点は(評価A:0点、B:－1点、C:－3点、D:－4点、E:－5点)

一般事業助成の評価基準等について

1 評価基準

番号	評価基準	参考とする項目	評価点 (70点満点)
1	区民ニーズを的確に把握し、地域課題や社会的課題を捉えた事業となっているか。	計画書「②地域課題・社会的課題」	10点
2	課題解決の手法が適切で、効果が期待できるものとなっているか	計画書「⑤活動内容、⑦期待される効果④」	10点
3	区民の社会貢献活動への理解を深め、参加の契機となり得る事業となっているか	計画書「⑦期待される成果⑦」	5点
4	事業計画及びスケジュールが実現可能であるか。妥当なものとなっているか。	計画書「⑤活動内容」	10点
5	実行体制（人員体制や安全対策）は適切であるか。	計画書「⑥実行体制」	5点
6	事業の継続性や発展性が期待できるか。	計画書「⑨事業の今後の展望」	5点
7	団体の先駆性や専門性を活かした事業となっているか。	計画書「⑧先駆性・専門性」	5点
8	申請した企画内容と照らして、資金計画や経費見積りが適切であるか。	収支予算書 内訳	5点
9	運営の公開性及び透明性に優れているか。	団体のHPやパンフレット等の日常の活動状況から把握	5点
10	団体の運営にかかる経費について、自ら資金確保に努め、経営状況は健全であるか。	申請書「⑨事業の今後の展開」、団体の決算書や予算書	10点
11	過去に本助成を受けた事業を申請する場合、実施状況が適切であったか、その効果が発揮された事業となっていたか。	過去の申請書や実績報告	-5点

2 評価方法

評価	A	B	C	D	E
	10点 (5点)	8点 (4点)	6点 (3点)	2点 (1点)	0点
目安	大いに認められる	認められる	どちらかといえば認められる	どちらかといえば認められない	認められない

() 内は5点の項目

3 通過基準

一次評価 通過基準	各委員合計点数が総得点（70点満点×座長を除く8名）の5割以上
二次評価 通過基準	一次評価及び二次評価の合計得点の6割以上

一般事業助成の公開プレゼンテーションについて

一般事業助成のスケジュールについては、会議の開催可否を基準として2とおりの想定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大状況にあるため、以下のポイントを念頭に公開プレゼンテーションの実施方法を、改めて検討しました。

【ポイント】

- ・急な国の緊急事態宣言等の発出があっても、手続きが継続できる方法とする。
- ・団体への説明がしやすく、混乱しにくい方法とする。
- ・団体にとって「話が違う」、「急に言われても対応できない」とならない方法とする。

【具体案】

		① 委員の参集 ○	② 委員の参集 ×	メ モ
団体のプレゼンテーション	実演	・ プレゼンテーション動画(以下「動画」※)を作成してもらい、会場でその動画を上映する。	・ 動画を作成してもらい、事務局で記録媒体に入れ、各委員へ送付する。	動画作成の要不要が一次の結果まで確定しないのは、事前に知らせていたとしても、団体の負担が大きい。 早めに、動画の作成が必要、との方向性をお知らせする。
	実演時間	10分		
	質疑体制	・ 2名/(1団体)程度が質疑のため参加	・ 書面でのやり取り又はオンライン	全団体がオンラインに対応できるとは限らない。1団体でもできないところがあれば、書面でのやり取りとする。
	質疑時間	10分		
委員	評価方法	・ 会場で評価。	・ 書面、オンラインの場合は自宅で評価し、評価シートを区へメールで送付。	
	質疑体制	・ 会場で団体へ質問。 ・ 各委員の質問内容は事前に取りまとめて、事前に提示。 ・ 団体数が多い場合、代表質問制。	・ 各委員からの質問について、団体からの回答を取りまとめ、委員へ提示する。	
傍聴	公開性の担保	・ 会場に傍聴席設置。但し、事前予約制。 ・ 団体関係者は来場者数の上限設定が必要。	・ ホームページに期限付きで動画をアップ。 期限は、採択団体の公表まで。	公開プレゼン当日の配布資料は、ホームページに掲載していないため、動画を掲載する場合に期限を設ける。
①②の見極め時期		6/4 (動画の提出日)		申請のあった団体に対し、動画の作成準備をできれば4月中にお願いすることで、6/4まで見極め時期を引き延ばす。

※ プレゼンテーション動画については、時間の外、パワーポイントに音声に乗せたもの、またはプレゼンテーションの様子を撮影したもの、とするなど、作成に関する仕様を決めたいと思っています。

令和3年度 今後の一般事業助成スケジュール（案）

資料8

① プレゼン（委員の参集○）			② プレゼン（委員の参集×）		
項目	月	日	項目	月	日
第1回協働支援会議（オンライン会議） （スケジュール等確認）			4		19(月)
第2回協働支援会議（オンライン会議） （書類評価にあたっての事前協議） ※委員質問票メール送付					26(月)
委員質問票①送付（事務局→団体）					
委員質問票①提出期限（団体→事務局）			5		6(木)
委員質問票①回答送付（事務局→委員）					10(月)
一次評価表提出期限 （電子メール）					16(日)
第4回協働支援会議 （書類選考（一次評価））					18(火)
				一次評価の確認期限（委員→事務局）	24(月)
				一次評価の確定連絡（事務局→委員）	26(水)
委員質問票②提出期限（委員→事務局）	5	30(日)			
プレゼンテーション動画提出期限			6		4(金)
委員質問票②送付（事務局→委員）	6	7(月)			
				プレゼンテーション動画送付 （事務局→委員）	10(木)
				委員質問票②提出期限（委員→事務局）	15(火)
				委員質問票②送付（事務局→団体）	17(木)
				委員質問票②回答送付（事務局→委員）	22(火)
				二次評価票提出期限（電子メール）	24(木)
第6回協働支援会議 （公開プレゼンテーション（二次評価））	6	28(月)		第6回協働支援会議（書面会議） （二次評価の協議）	28(月)
				二次評価の確認期限（委員→事務局）	29(火)
				二次評価の確定連絡（事務局→委員）	30(水)
助成決定通知送付			7		1(木)

※委員質問票①は一次評価にあたり、最低限必要な事項について団体へ確認します。掘り下げた内容についてのご質問は委員質問票②にてお願いいたします。

協働推進基金 令和2年度寄附金の活用先の指定

指定の内容		件数	金額(円) 複数活用先指定している場合は、件数で按分 ※小数点以下切捨て
分野	1. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	1	5,000
	2. 社会教育の推進を図る活動		
	3. まちづくりの推進を図る活動		
	4. 観光の振興を図る活動		
	5. 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動		
	6. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動		
	7. 環境の保全を図る活動		
	8. 災害救援活動		
	9. 地域安全活動		
	10. 人権の擁護又は平和の推進を図る活動		
	11. 国際協力の活動		
	12. 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動		
	13. 子どもの健全育成を図る活動	2	530,000
	14. 情報化社会の発展を図る活動		
	15. 科学技術の振興を図る活動		
	16. 経済活動の活性化を図る活動		
	17. 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動		
	18. 消費者の保護を図る活動		
	19. 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動		
	20. 前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動		
分野希望なし		3	250,000
		6	785,000

令和2年度 寄附実績(全6件 785,000円)

寄附申出日	金額(円)	寄附者の名称(敬称略)	活用先の指定
令和2年4月6日	100,000	匿名	希望なし
令和2年4月17日	30,000	福島 久男	分野(13)
令和2年8月12日	5,000	匿名	分野(1)
令和2年9月29日	100,000	匿名	希望なし
令和2年12月19日	50,000	匿名	希望なし
令和2年12月21日	500,000	匿名	分野(13)
計	785,000		